

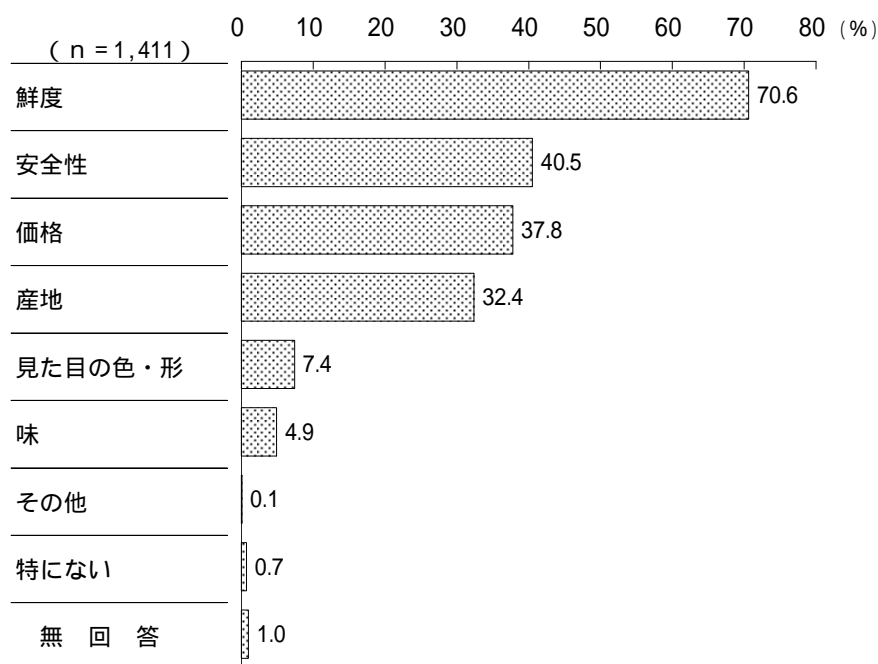
9 食料・農業・農村について

(1) 農産物を選ぶ際に意識していること

問 25 あなたは、毎日の食生活で利用する農産物を選ぶ場合、どのようなことを意識して選んでいますか。次の中から2つまで選んでください。

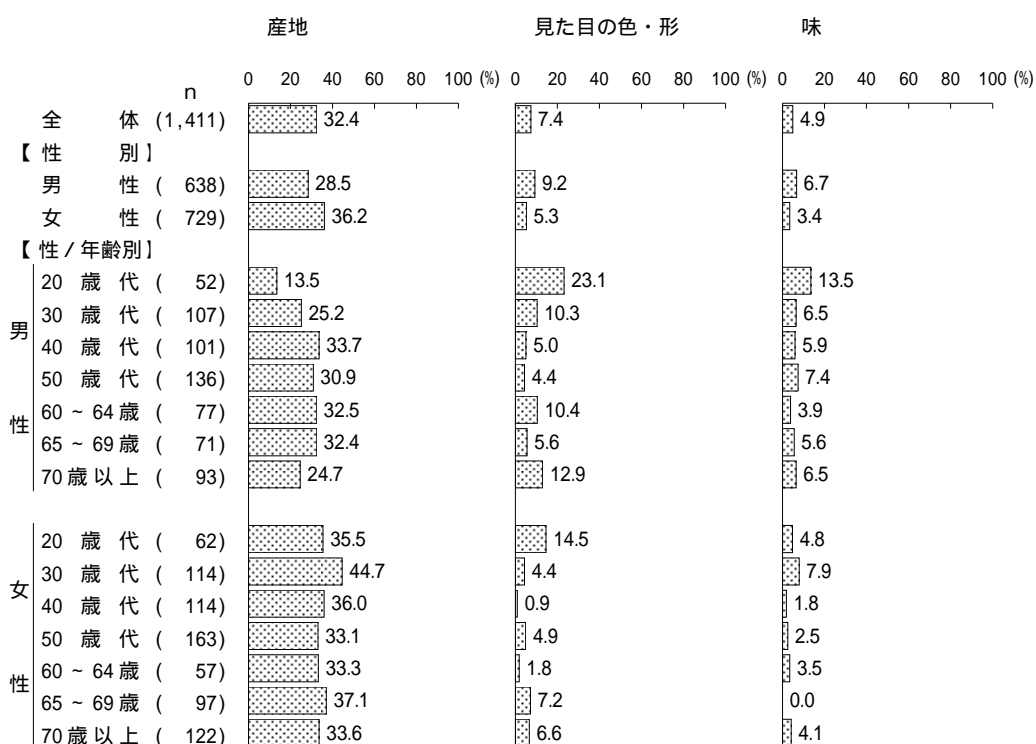
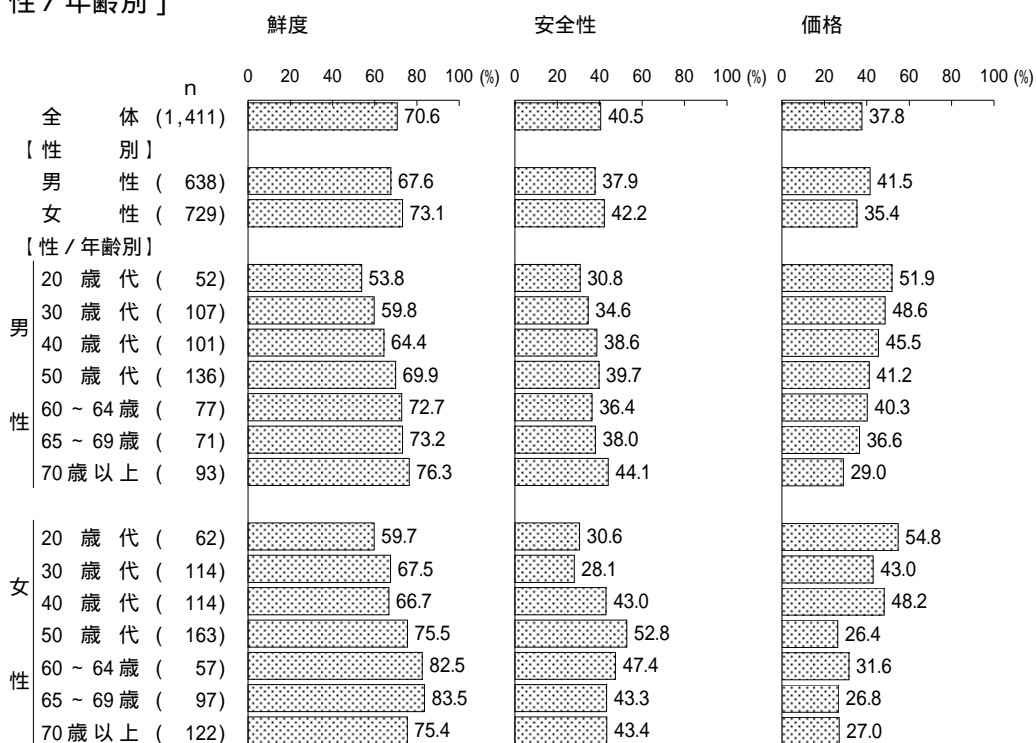
[n = 1,411]

1 鮮度	70.6%
2 価格	37.8
3 安全性	40.5
4 産地	32.4
5 見た目の色・形	7.4
6 味	4.9
7 その他	0.1
8 特にない	0.7
(無回答)	1.0



- ・ 全体で見ると、「鮮度」(70.6%)がほぼ7割と最も高く、次いで「安全性」(40.5%)、「価格」(37.8%)、「産地」(32.4%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]



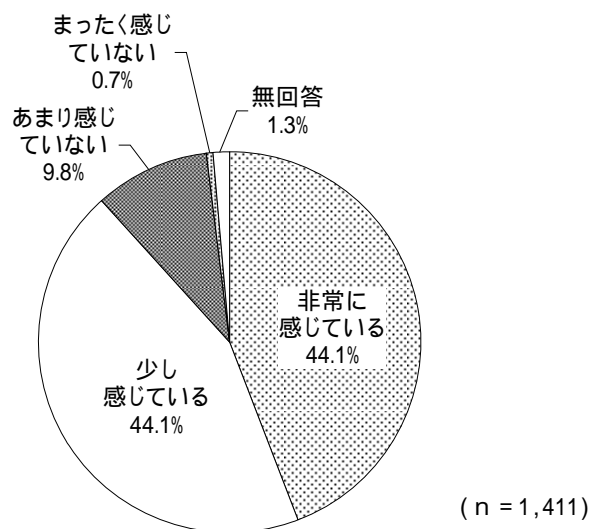
- ・ 性別で見ると、「産地」では 女性（36.2%）が 男性（28.5%）より 7.7 ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- ・ 性/年齢別で見ると、「鮮度」では 女性 65~69 歳（83.5%）と 女性 60~64 歳（82.5%）が 8 割を超え、「安全性」では 女性 50 歳代 が 52.8% と他の年代と比べて高くなっている。また、「価格」では男性は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、女性 20 歳代 が 54.8%、「産地」では 女性 30 歳代 が 44.7%、「見た目の色・形」では 男性 20 歳代 が 23.1% とそれぞれ他の年代と比べて最も高くなっている。

(2) 将来の食料事情についての不安

問 26 我が国の食料自給率は現在 40%（平成 19 年供給熱量自給率）と主要先進国の中で最低の水準となっていますが、あなたは我が国の将来の食料事情について、不安を感じていますか。次の中から 1 つ選んでください。

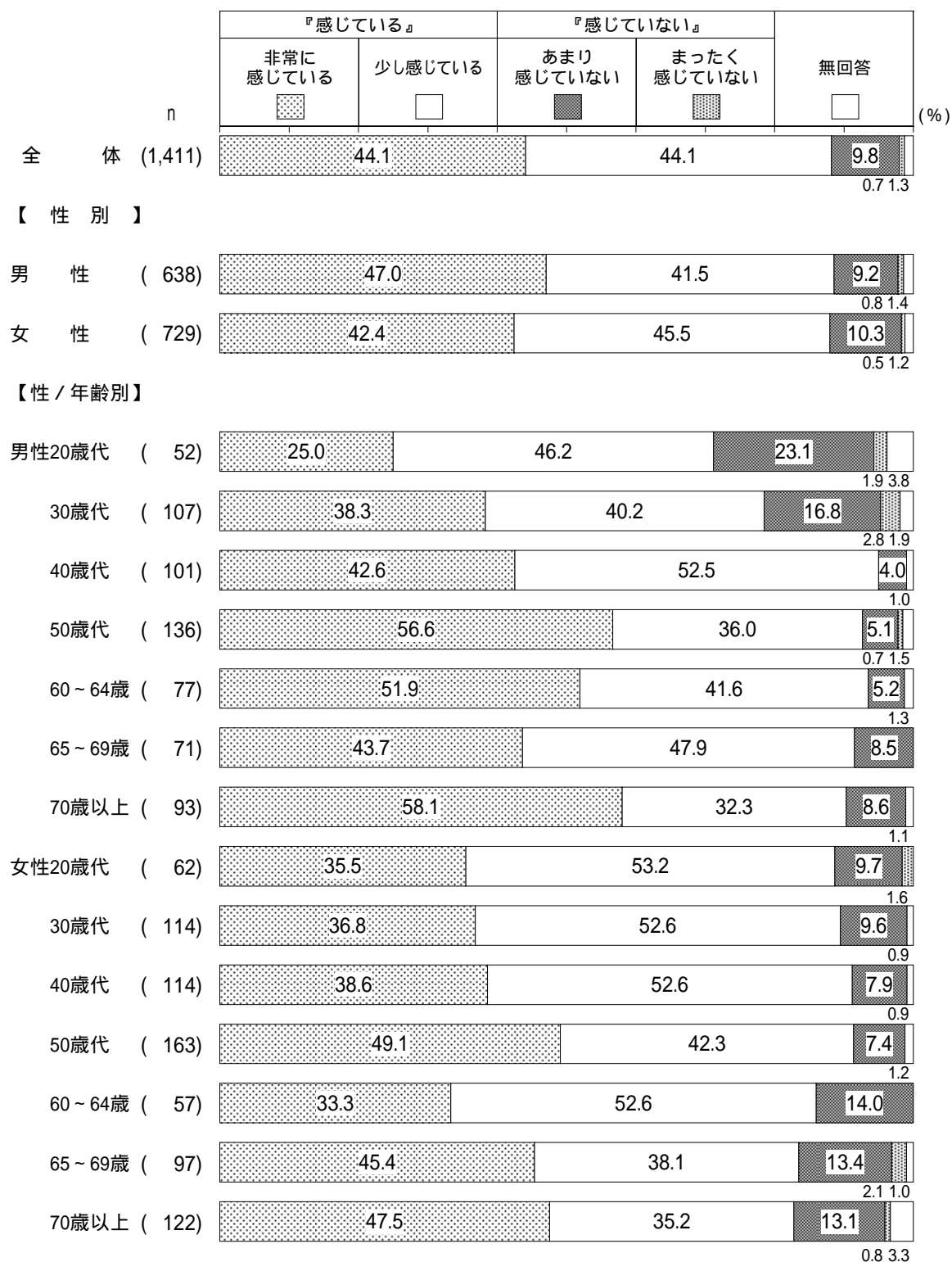
[n = 1,411]

1 非常に感じている	44.1%
2 少し感じている	44.1
3 あまり感じていない	9.8
4 まったく感じていない	0.7
(無回答)	1.3



- 全体で見ると、「非常に感じている」（44.1%）と「少し感じている」（44.1%）の2つを合わせた『感じている』（88.2%）は9割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」（9.8%）と「まったく感じていない」（0.7%）の2つを合わせた『感じていない』（10.5%）はほぼ1割となっている。

[性別・性 / 年齢別]



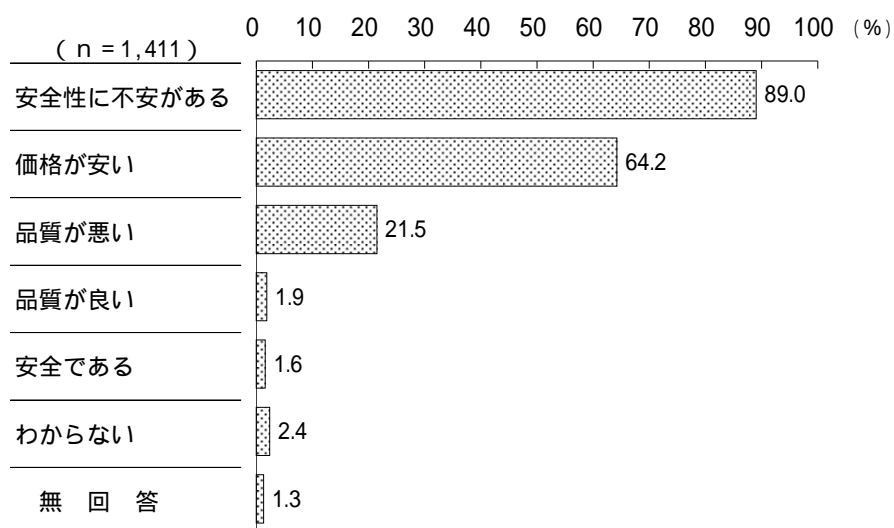
- ・ 性 / 年齢別で見ると、『感じている』では 男性 40 歳以上 と 女性 40 ~ 50 歳代 が 9 割を超えている。一方、『感じていない』では 男性 20 歳代 が 25.0% と他の年代と比べて最も高くなっている。

(3) 輸入農産物に対する意識

問 27 あなたは、輸入農産物について、どのように思いますか。次の中から2つ選んでください。

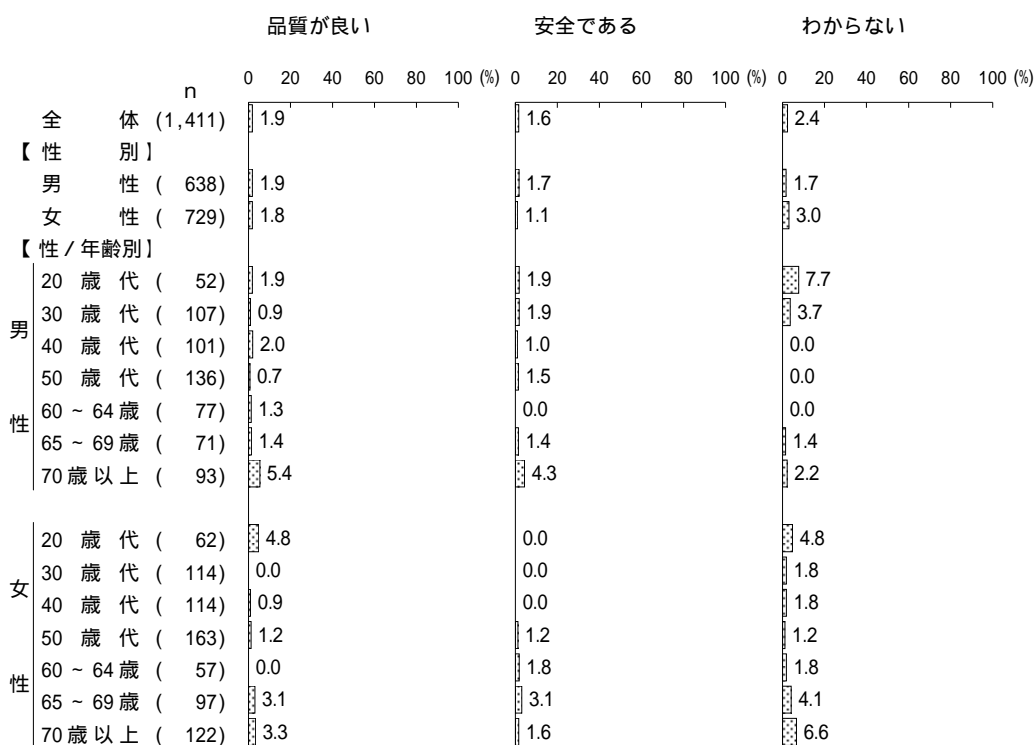
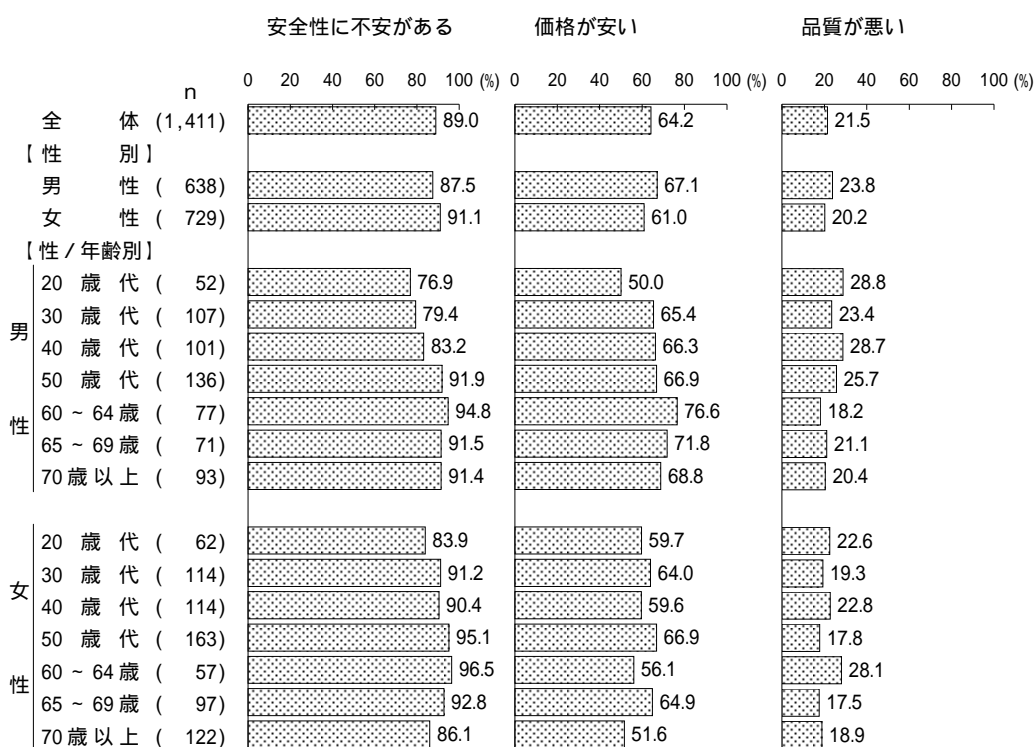
[n = 1,411]

1	価格が安い	64.2%
2	品質が良い	1.9
3	品質が悪い	21.5
4	安全である	1.6
5	安全性に不安がある	89.0
6	わからない	2.4
	(無回答)	1.3



- ・ 全体で見ると、「安全性に不安がある」(89.0%)がほぼ9割と最も高く、次いで「価格が安い」(64.2%)、「品質が悪い」(21.5%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]



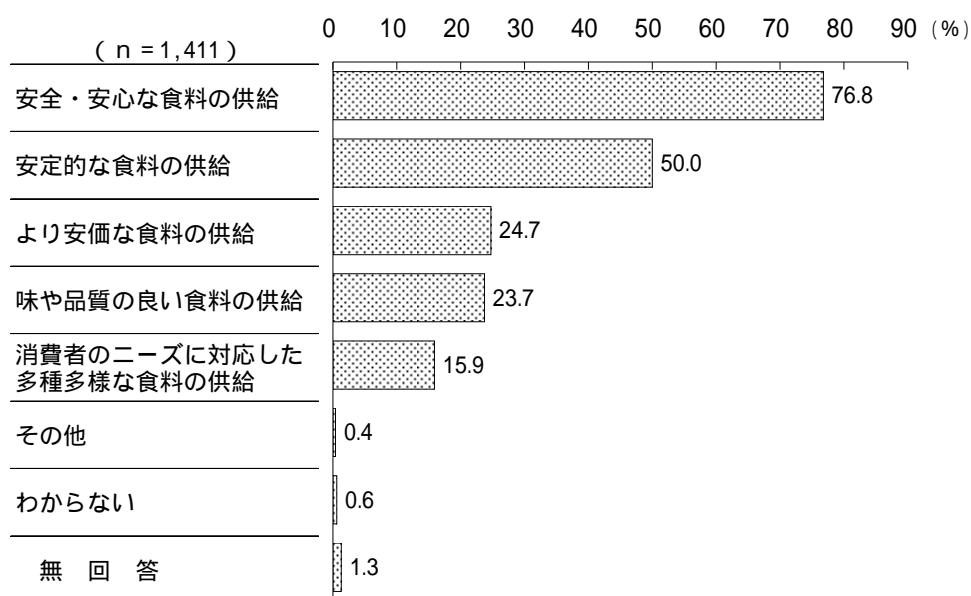
- ・ 性別で見ると、「価格が安い」では 男性（67.1%）が 女性（61.0%）より 6.1 ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- ・ 性/年齢別で見ると、「安全性に不安がある」では 男性 50 歳以上 と 女性 30~60 歳代 が 9 割以上となっている。「価格が安い」では 男性 60~64 歳 が 76.6% と他の年代と比べて最も高くなっている。

(4) 国内農業の生産活動に期待すること

問 28 あなたは、国内農業の生産活動（食料の生産）に対して、どのようなことを期待しますか。次の中から2つまで選んでください。

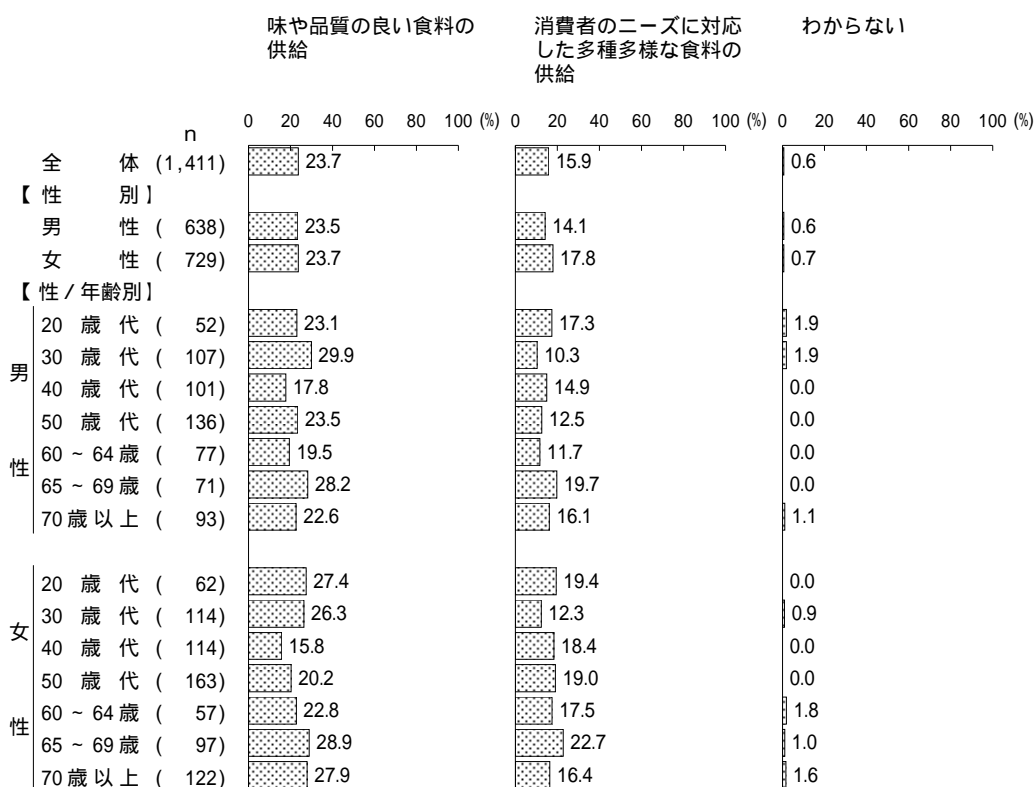
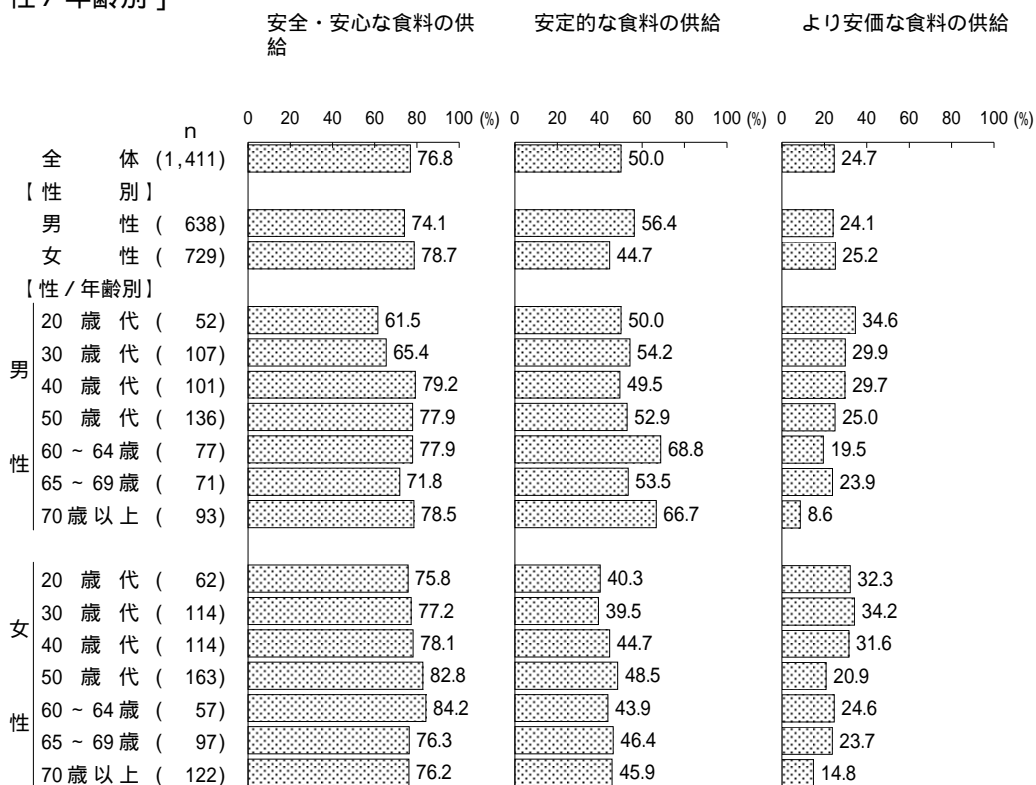
[n = 1,411]

1 安定的な食料の供給	50.0%
2 より安価な食料の供給	24.7
3 安全・安心な食料の供給	76.8
4 味や品質の良い食料の供給	23.7
5 消費者のニーズに対応した多種多様な食料の供給	15.9
6 その他	0.4
7 わからない	0.6
(無回答)	1.3



- 全体で見ると、「安全・安心な食料の供給」(76.8%)が7割半ば以上と最も高く、次いで「安定的な食料の供給」(50.0%)、「より安価な食料の供給」(24.7%)、「味や品質の良い食料の供給」(23.7%)、「消費者のニーズに対応した多種多様な食料の供給」(15.9%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]



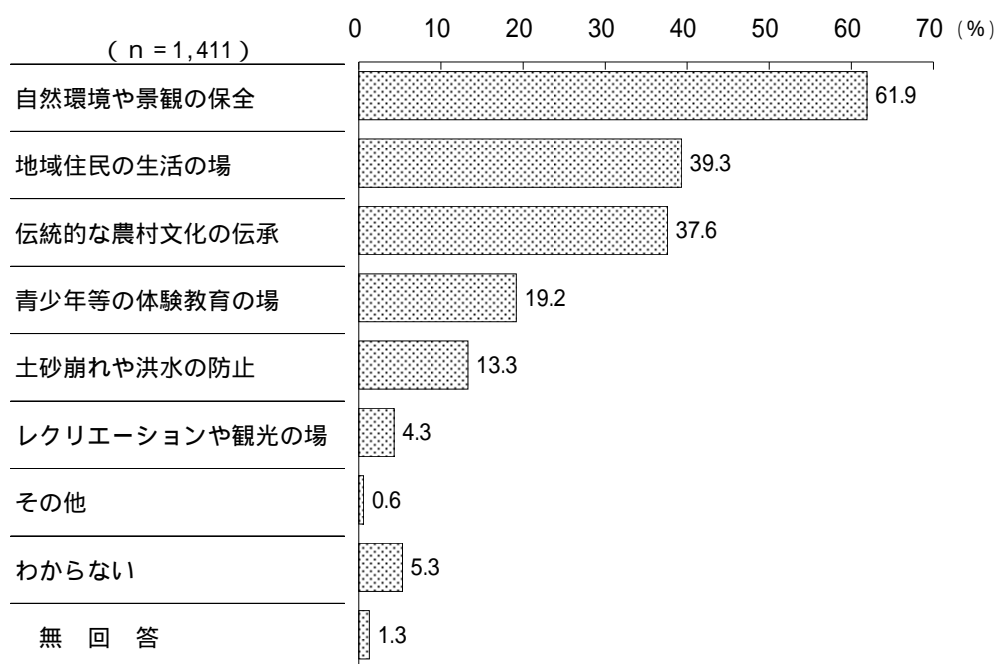
- 性別で見ると、「安定的な食料の供給」では 男性（56.4%）が 女性（44.7%）より 11.7ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- 性/年齢別で全体平均と比べて差が大きくなるのは、「安定的な食料の供給」の 男性 60~64歳（68.8%）、男性 70歳以上（66.7%）となっている。

(5) 農村の重要な役割

問 29 農村は単に食料を生産するだけでなく、様々な役割を果たしていますが、あなた
はどのような役割が重要だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

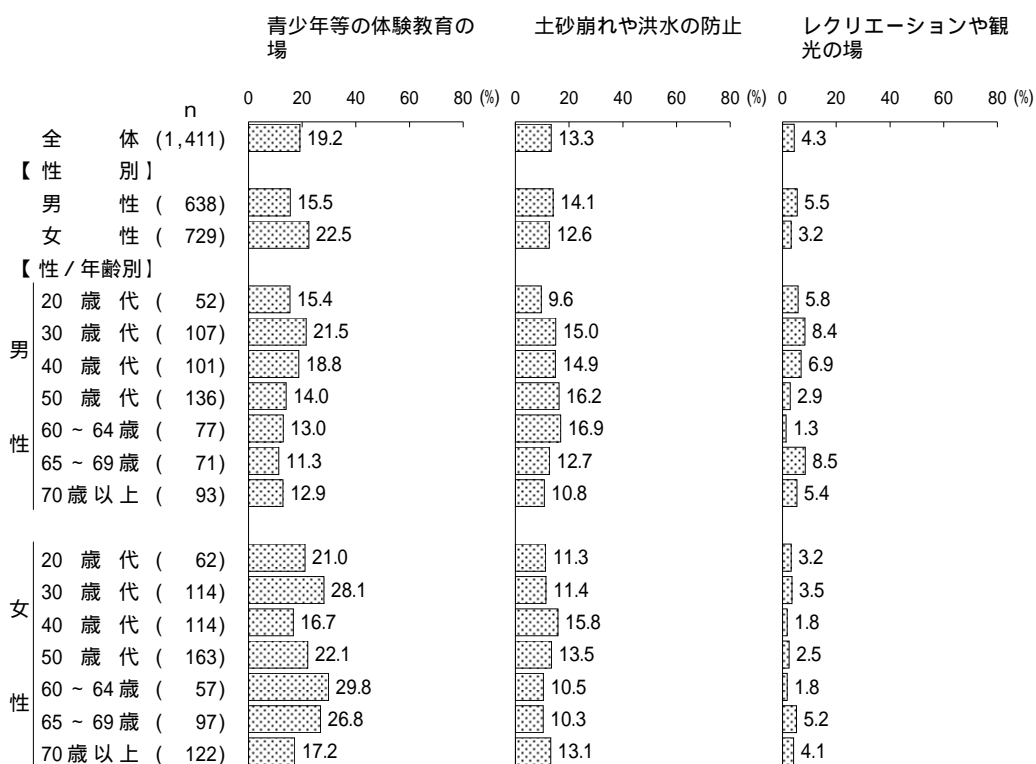
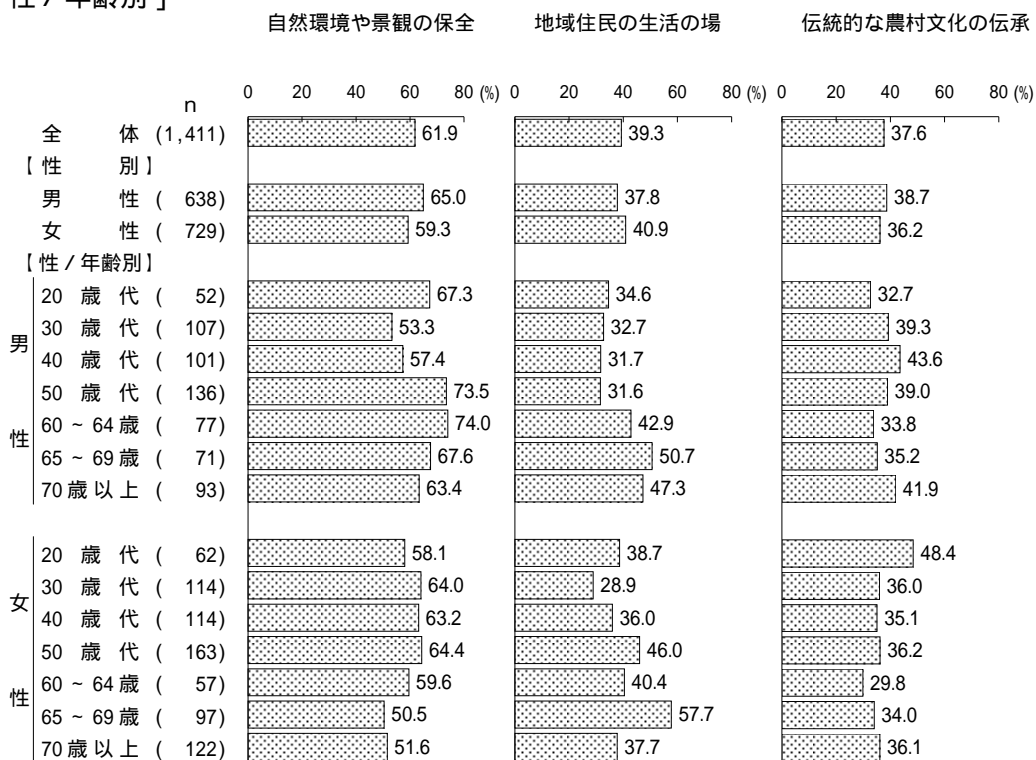
[n = 1,411]

1	自然環境や景観の保全	61.9%
2	地域住民の生活の場	39.3
3	土砂崩れや洪水の防止	13.3
4	青少年等の体験教育の場	19.2
5	伝統的な農村文化の伝承	37.6
6	レクリエーションや観光の場	4.3
7	その他	0.6
8	わからない	5.3
	(無回答)	1.3



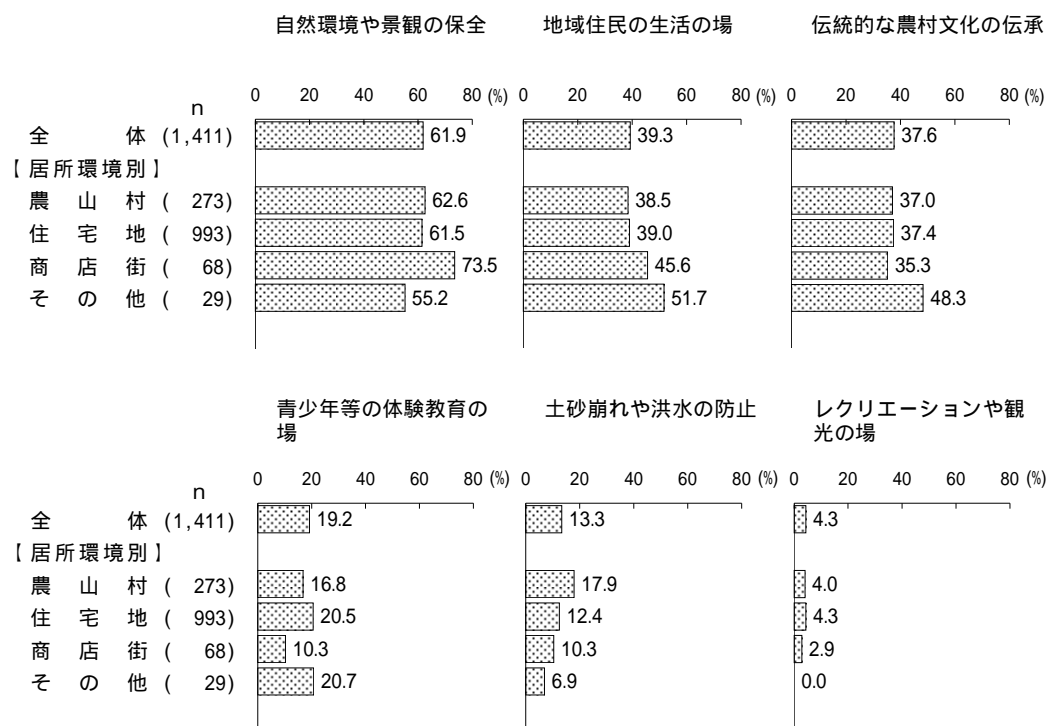
- 全体で見ると、「自然環境や景観の保全」(61.9%)が6割を超え最も高く、次いで「地域住民の生活の場」(39.3%)、「伝統的な農村文化の伝承」(37.6%)、「青少年等の体験教育の場」(19.2%)、「土砂崩れや洪水の防止」(13.3%)、「レクリエーションや観光の場」(4.3%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]



- ・ 性別で見ると、「青少年等の体験教育の場」では 女性（22.5%）が 男性（15.5%）より7ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。
- ・ 性/年齢別で見ると、「自然環境や景観の保全」では 男性60~64歳（74.0%）と 男性50歳代（73.5%）が7割を超え、「地域住民の生活の場」では 女性65~69歳が57.7%と他の年代と比べて高くなっている。

[居所環境別]



- ・ 居所環境別でみると、「自然環境や景観の保全」の 商店街 が 73.5% と最も高くなっている。